

旧宮本新聞店

昭和前期に建てられた 長生きで立派な元新聞店

旧宮本新聞店は国道 275 号沿いにあった建物です。2022 年の秋に解体されたため、現在は実物を見るできません。実は、この建物は歴史的建造物にも匹敵するご長寿さんでした。

詳細な建築年は不明ですが、構造様式から見て戦前の浦臼村時代に建築されたと思われる。したがって、80 年以上前から建てていたことになります。当初は民家でしたが、のちに新聞店として利用されたとのこと。

外壁がただの下見板張りではなく上だけ漆喰塗りになっており、デザイン的に工夫されています。2 階の和室は当時としてはおしゃれな内装で、とても格式の高いお部屋であることがわかります。この建物、立派ですね……！



※居室を車庫に改築する前の状態に復元

【構造・規模】
木造 2 階建て
【竣工年】
昭和前期（戦前と思われます）



▲2 階の和室（畳撤去済）



▲正面玄関の引き戸

上と下で和洋折衷な窓

1 階は引き違いの出窓、2 階は上げ下げ窓と、窓のスタイルが和洋折衷になっています。ただ、お部屋が和室であることから、外観のみ洋風の意匠を取り入れたのかもしれませんがね。また、窓は単純に半紙サイズのガラスを格子状に割りつけたのではなく、このデザインに合わせて切り合わされています。こだわりを感じますね……。



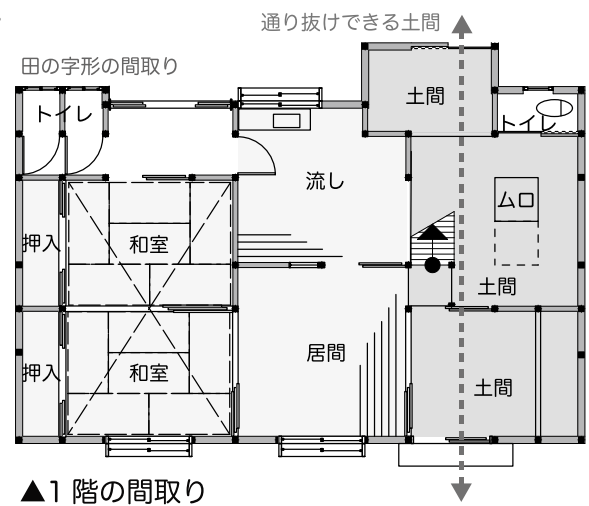
◀1 階の引き違い窓



◀2 階の上げ下げ窓

農家じゃないのに農家の間取り

1 階内部の間取りは田の字形の居室に、玄関から勝手口まで通り抜けできる土間が付いています。外観には洋風のデザインを取り入れているのですが、この間取りは本州方面の典型的な農家住宅と同じです。昭和前期とはいえ、街の中心部で農業を営んでいたとは思えないので、どうしてこのような間取りになったのか不思議です。



▲1 階の間取り

冷蔵庫の前身！「ムロ」

1 階の土間部分にはコンクリート造の「ムロ」があります。冷蔵庫がなかった当時は、温度や湿度の変化が少ない「ムロ」に野菜や漬物、味噌などを貯蔵していたのでしょ。北海道は涼しいので、本州より保存しやすそうですね。



▲ムロ

こんにちは！
札幌市立大学の^{おおてら}大寺梨香と申します。昨年の秋、課題の一環でこの旧宮本新聞店を調査させていただいた縁から、今回先輩が連載している浦臼町の建物に関する記事を書かせていただきました。写真は、調査の帰りに館でいただいたオムライスです。館、美味しいメニューがたくさんニューがたくさんあって素敵ですよ！私は千歳に住んでいるので中々浦臼町に赴くことができないのですが、今度友人を誘って浦臼町の魅力的な建物でも見てまわりつつ、館で美味しいご飯を食べて楽しみたいです。



まいたうんTOPICS



▲北伸建設工業株式会社に対する感謝状贈呈式が行われました。同社は鶴沼公園の開園前に倒木処理等、園内の環境整備活動を実施していただきました。代表取締役の増田拓也氏は「お世話になっている浦白町に恩返しができ、とても光栄です」と話していました。
(6月8日/役場)



▲3年ぶりに「だれでも食堂祭り」が開催されました。満席となった会場では焼きそばやザンギ、サンドイッチなどの料理が提供されたほか、お絵かきや物当てゲームも催されました。代表の鎌田眞美さんは「無事開催できて安心しました。お客様が来てくれるか不安でしたが、たくさんの来場があり、とても嬉しいです。」と話していました。(6月17日/ふれあいの家)



▲浦白町建設業協会(竹内勝人会長)と浦白技能協会(横井正男会長)によるボランティア活動が行われました。鶴沼公園内(日本庭園)、いこいの森公園、小公園の枝拾いや危険木の伐採等、園内の環境美化や安全確保に貢献されました。この取り組みは地域貢献活動の一環として実施されております。(5月18日/鶴沼公園)

ご誕生おめでとうございます!



いがらし
五十嵐

なぎ
柳ちゃん

令和5年5月26日生(浦白第2)



保護者 五十嵐 景さん
里菜さん

一言 元気に育ってね!



訂正して、おわび申し上げます。

広報うらうす6月号、15ページ「まいたうんTOPICS」桜の植樹の記事で、「江上亜希」と掲載しましたが、「江上亜樹」さんの誤りでした。

有料広告

あなたの
悩みに

面談 完全無料
電話

相談予約
ダイヤル **0125-22-8373**
平日 10:00~16:00(12:00~13:00を除く)

あなたの
悩みに

電話で相談 **011-281-8686** 1回15分
相談無料

※掲載の時間や相談方法は予告なく変更する場合がございます。

札幌弁護士会 中空知法律相談センター